

# 情報C

(116日文・情報079・情報C)

レポート提出回数 **6** 単位数 **2**

必要面接時数 **4**

## 1. 学習の到達目標と取り組み

目標	高度情報通信社会に主体的に参画していくために必要な態度を身につける。情報通信社会がどのようなものであるか、それが社会の中でどのように位置づけられ組み込まれているかを学ぶとともに、プライバシーや著作権など守らなければならない法律やルールを知り、必要な場面で適切に対応できる能力を身につける。
目標に向けての具体的な取り組み	教科書の内容を深めることにより、高度情報通信社会がどのようなものか学び、社会に何をもたらすかを気づくことにより、自分の生活とどうかかわっていくか、利便性を向上するものはなにか、を学ぶ。また、どのような態度、姿勢を持って利用するのを実習を通じて修得する。

## 2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(編)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月 5月	第1章 情報機器の発達とデジタル化	わたしたちの暮らしの中には、さまざまな文字や音、画像などある。それらは、自分にとって意味あるものとしてとらえたときはじめて「情報」となる。暮らしの中でどのようなものが情報となるか、情報がデジタル化されるとどのようなことが起きるかを学ぶ。	第1節 わたしたちの暮らしの中の情報 第2節 情報のデジタル化	No.1	5/19	第1回 4/28 第2回 5/5	第1回 レポート No.1,2	レポート 面接授 業 テスト
6月 7月	第2章 ネットワークでわかる社会	社会のあらゆるところで活躍している情報技術は、ネットワークで結ばれることにより、社会に多大なる利便性をもたらし、人々の暮らしに大きな影響を与える。ネットワーク化された情報技術の背景について知り、正確に安全に情報を活用するためのしくみを理解する	第1節 社会で利用されている情報システム 第2節 ネットワークのしくみ	No.2	6/16	第3回 6/2	教科書 p8～ p54	
8月 9月	第3章 表現とコミュニケーション	情報化はわたしたちの暮らし、なかでもコミュニケーションの仕方に強い影響を与えている。それは単なる情報の送受信の仕方にとどまらず、人の心理や人間関係などにも広がっている。その影響について考え、自分の考えやイメージを表現して伝える方法について学ぶ。	第1節 広がるコミュニケーション 第2節 さまざまな表現 第3節 プレゼンテーションによる表現	No.3	8/25	第4回 8/4	第2回 レポート No.3, 4	レポート 面接授 業 テスト
10月	第4章 総合実習	わたしたちは、これまで、情報社会にかかわるさまざまなことから学習してきた。これまでの学習内容を活用して、自分でテーマを決め、目標を設定し、方法を考え、学習活動を進め、成果をまとめるといった流れを学ぶ。	第1節 総合実習の進め方 第2節 総合実習の実践	No.4	10/6	第5回 10/6	教科書 p56～ p112	
11月 12月 1月 2月	第5章 情報通信社会を築く	情報化の進展は、社会にどのような影響を与えただろうか。それによってわたしたちはより幸せに、豊かに暮らすことができるようになったのだろうか。情報通信技術による社会の変化を多方面にとらえ、その社会を積極的に形づくっていくことに参画する心構えについて学ぶ。	第1節 情報化の恩恵 第2節 情報化が内包する問題 第3節 自分なりの意見をもとう	No.5	11/17	第6回 12/15	第3回 レポート No.5, 6 教科書 p114～ p144	レポート 面接授 業 テスト
				No.6	12/15			

面接授業は実習を中心に行う

## 3. 評価の観点

評価の観点	観点の内容
関心・意欲・態度	コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持っているか。身の回りにあるさまざまな問題の解決を通して、情報を主体的に活用しようと努力しているか。
思考・判断	情報を収集・処理・発信する場合に、方法を工夫したり目的に応じてその手段や方法を改善したりしているか。情報を収集・処理・発信する場合に情報モラルを考慮しているか。
技能・表現	コンピュータや情報通信ネットワークなど活用しているか。目的に応じて情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な技能を習得しているか。
知識・理解	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身につけているか。情報社会における情報技術の役割や影響を理解しているか。